

S-KYT研修を実施して

福岡県粕屋町消防団

1. はじめに

本町は、福岡県の北西部に位置し、西に福岡市、北に久山町、東に篠栗町・須恵町、南に志免町と1市4町に隣接しています。また、町を縦横に貫くJR（香椎線・福北ゆたか線）や国道201号、福岡都市高速道路、九州自動車道が走るなど交通利便性の高い町です。九州最大の都市である福岡市とのアクセスは、JRで約8分、九州の玄関口であるJR博多駅まで約10分、福岡空港まで車で約10分です。



面積は、14.13平方キロメートルで、町内には、筑前三大大池のひとつである駕輿丁池をはじめとする大小のため池が点在し、町内を東西に流れる多々良川と須恵川が肥沃な平野を形成しています。福岡市に隣接しながら田園も多く残り、ブロッコリーなどの都市近郊型の農業も盛んです。町のシンボルである広大な駕与丁公園は、四季折々の自然に親しむことができる安らぎと憩いの空間になっています。

2. 粕屋町消防団の概要

粕屋町消防団は、平成30年4月1日現在、団長、副団長、14分団、広報・啓発班（女性消防団）

の181名で構成されており、消防ポンプ車12台、小型動力ポンプ積載車3台を配置しています。

平成28年に発足した広報・啓発班（女性消防団）は、式典運営、住民への応急手当指導や火災予防週間での街頭啓発活動などで活躍しています。

3. S-KYT研修開催の経緯

粕屋町を含む1市7町で構成する糟屋地区消防連絡協議会では、毎年、班長以上の団員を対象とした指導員研修を開催しています。例年、消防本部にもご協力をいただき、無線運用や中継訓練などの実技訓練も研修の一環として行ってきました。

今回は、一昨年度に実施しましたこの研修が好評であったため、多種多様化する災害に潜む危険をいち早く察知する力を磨く機会を設け、現場活動における安全管理や公務災害の防止を学習するため、常備消防や企業においても取り入れられている「危険予知訓練」である「S-KYT研修（3時間コース）」を消防団員等公務災害補償等共済基金のご協力のもと実施したものです。

4. S-KYT研修を実践して

平成30年4月15日（日）、粕屋南部消防本部中部消防署において、糟屋地区消防連絡協議会指導員研修として、S-KYT研修を開催しました。

当日は、1市7町から団員77名が当該研修に参加し、岡松弘明氏、吉原伸二氏、松尾勝治氏の3名のS-KYT指導員の方からDVDの上映を交えた講義をいただきました。講義では、指差し呼称、唱和で確認行動を行い、タッチ・ア

ンド・コールで各班の一体感や連帯感を高めた後、危険要因の捉え方と表現の仕方、S-KYT基礎4ラウンド法について指導をいただき、各班が作成したS-KYTレポートを発表しました。各班のリーダーを中心に、大きな声で唱和を繰り返すなど、会場内は真剣な中にも和気あいあいとした雰囲気に包まれ、研修は進行していきました。

参加した団員からは、「声を出し、作業の確認を行うことが大切だと思った。」「分団に持ち帰り、公務災害をゼロにしたい。」「危険を予測し、対策を立てることの重要性を学んだ。」「消防活動以外でもS-KYTを意識して行動することが大事だと思った。」などの声をいただき、非常に好評でした。また、グループワークでは、様々な



意見が出るとともに、相互の交流も深まり、たいへん有意義な研修となりました。

5. 今後の取組について

安全安心なまちづくりには、災害時にいち早く駆けつけ、被害を最小限に止める消防団員の存在が欠かせません。「一人ひとりかけがえない団員」という公務災害防止活動の理念に基づき、S-KYTを各市町消防団や各分団で実践し、今後の安全、確実な現場活動に役立てていきたいと考えています。

今回の研修の開催にあたり、ご協力いただきました講師の方々、消防団員等公務災害補償等共済基金の担当者の皆様に改めてお礼を申し上げます。

